

異文化適応力診断アセスメント Intercultural Readiness Check ご案内



 IRCは、**4つの『力』**にて、異文化適応力を**数値化**します

【1】異文化に対する感受性・気づきの力

どれくらい積極的に、周囲の人々、彼らの背景や経歴、ニーズ、視点に関心を持っているか？
違う文化を持つ人々と交流するとき、その違いにどの程度、気づけるか？

【2】異文化間でのコミュニケーション・対話力

周囲の人々とコミュニケーションをするとき、どれくらい心を配っているか？
彼らの期待やニーズに合うように、自分のコミュニケーションスタイルを効果的に合わせられるか？

【3】コミットメント構築力

より良い関係性とさまざまなネットワークを築くために、どれくらい注力しているか？
それぞれ違う利害関係を持つ人々の関心を満たせるよう、創造的な解決策を生み出せるか？

【4】不確実性への対応力

文化の多様性による不確実性と複雑さに、どのようにうまく対処しているか？
異文化間の多様性を、学びやイノベーションの源として、どれほど効果的に活用できるか？

 IRCは、**個人と組織の**、異文化適応力を**数値化**します

◆個人診断

IRCは、一人ひとりの異文化適性を診断し、強みを最大限に高め、陥りやすい“落とし穴”を回避するよう示唆します。各適正項目は、多様な文化の中で働くことに直接的に結びついています。IRC診断レポートは、個人の成長を促すべく、単刀直入な解決策を提示するため明確で非常に有用です。

◆組織診断

「同業他社と比べて、自社や自分のチームは異文化にどれだけ適応できるか？」IRCは貴社や部署のベンチマークを策定します。多様なメンバーの才能を生かして、どれだけ会社や部署のモチベーションを高められるか？ぜひIRCのデータを活用して、より効果的な組織運営ができるよう、次の打ち手を見つけてみませんか。

◆なぜ、IRC(異文化適応力診断アセスメント)なのか？

★わかりやすい設問設計です(3段階)！

- ・STEP 1: 受験者の異文化に対する感じ方、ふるまい、性格を問う
- ・STEP 2: 受験者の異文化環境での仕事や生活経験を問う
- ・STEP 3: 受験者のダイバーシティの理解を問う

★客観的な提言と、自身で振り返りができる診断レポート！

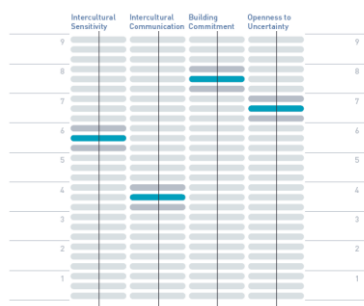
- ・各項目での、受験者の強みと弱みを示唆する
- ・各項目で、受験者が気づかない落とし穴や、今後の改善行動のための客観的なアドバイスが書かれている
- ・最終頁に、受験者本人が、どのように異文化に適応していけば良いかを考えてまとめる『アクションプランシート』がある

★多文化研究最先端のオランダ発アセスメント！

- ・多民族が共存する、ヨーロッパ大陸の多文化研究(大学の研究機関)がベースである
- ・世界で約30,000名実績がある
- ・社員の教育研修や、採用時の選考基準として、ヨーロッパの企業で採用されている

◆IRC(異文化適応力診断アセスメント)の仕様について

【受験方法】	オンラインにて(PC・インターネット環境要)
【設問数】	63問
【所要時間】	20分
【診断項目】	4つの『力』項目にて数値化



●異文化に対する感受性・気づきの力

- ①気づきのレベル ②違いのシグナル(非言語も含め)に気づくレベル

●異文化間でのコミュニケーション・対話力

- ①相手の真意を理解するレベル ②相手に合わせて順応するレベル

●コミットメント構築力

- ①人間関係を構築するレベル ②相手のコミットメントを得るレベル

●不確実性への対応力

- ①多様性を理解し、受容するレベル ②新たなアプローチを試みるレベル

【受験言語】	7か国語(日本語版は、弊社が日本で初めて導入いたします)
【診断方法】	各項目を9段階に分け、さらにそれぞれ高・中・低・の3層に分けて可視化
【診断結果】	個人診断レポート(全11ページ) ※組織診断は別途ご相談ください
【料金】	お一人様8,000円(消費税別途)

お問い合わせはこちら

株式会社JTBコーポレートセールス JTBグローバル人財育成プログラム担当
〒163-1065 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー26階
HP: <http://www.jtbbwt.com/contents/globalhr.html>